

True Gloss Vinyl Filmの傷防止と対処法

注：真の光沢および鏡面仕上げビニールフィルムの固有の特性により、施工中に表面に目立つ傷が生じやすくなります。以下のガイドラインは、このリスクを最小限に抑え、発生した問題を解決するのに役立ちます。

キズの主な原因

高温はフィルムを軟化させ、キズへの感受性を高め、自己回復を遅らせるため、より目立つ痕跡が残ります。
過度な圧力や粗い/不適切なスキージ素材の使用が、傷の発生に大きく影響します。

推奨される予防策と解決策施工温度の管理

施工環境を約**22°C（72°F）**に一定に保ってください。適切な工具の使用。常に柔らかく高密度の繊維巻きスキージを使用してください。
工具は状態が良く、粗いエッジがないことを確認してください。

適切な潤滑剤を塗布

フィルム表面とスキージフェルトの両方にスリップ溶液をたっぷりとスプレーしてください。

推奨スリップ溶液配合

水：JOHNSON’S® ベビーシャンプー（青ボトル） 混合比率：**8：2** または **9：1**（水：シャンプー）

施工後のキズ処理

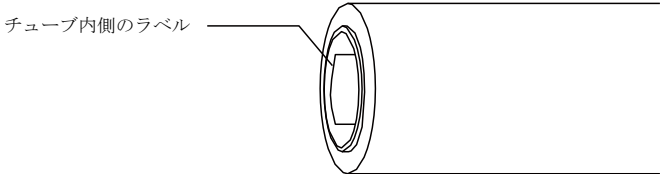
軽微なキズは、プロ仕様の光沢仕上げワックスまたはビニール対応ディテールスプレーを塗布することで除去できる場合があります。
フィルムを自然光に**1～2日間**さらしてください。熱と紫外線によりフィルムの形状記憶機能が活性化され、軽微なキズが自己修復します。

スキージ操作技術

均一な圧力をかけ、一箇所に集中して作業しないように注意してください。
施工中はスクイージーとフェルトを常に清潔に保ってください。

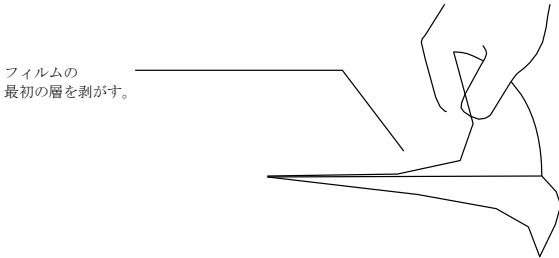
ベストプラクティスのまとめ

約**22°C（72°F）**で施工
柔らかい巻きスクイージーを使用
滑り剤（水：シャンプー＝**8：2**の比率）で潤滑微細な傷にはプロ用ワックスを塗布
自然治癒のため**1～2日間**日光に当てる
これらのガイドラインに従うことで、傷リスクを最小限に抑えながら完璧な高光沢仕上げを実現できます。



バッチコード記録

将来の修理や部分的な再ラッピング時に正確な色合わせを行うため、素材のバッチコードを記録することが不可欠です。
ご注意：特定バッチの入手可能性は在庫状況に依存し、保証できません。



素材の取り扱い

ロールから素材を切断後、直ちに保護ライナーを取り外してください。これを怠ると、剥離ライナーの張力により「トンネル」が発生し、素材を損傷する恐れがあります。
ロール未使用時は、巻き戻し防止とトンネル発生回避のためテープで固定してください。
マット仕上げ製品には表面保護フィルムは付属しませんのでご注意ください。

POST-HEATING ガイドライン

メインパネル：伸張率を**10%以下**に制限してください。
過度な伸張は光沢低下、変色、エアチャネル、接着不良の原因となります。
加熱後は素材に触れないでください。跡が残る恐れがあります。冷却後にお取り扱いください。
市販の光沢ビニールフィルムにはエアチャネルが生じる場合があります。当社の高光沢仕上げでは、過熱や過度な伸張により目立ちやすくなります。
ただし、光沢と透明度は極めて高い水準を維持します。

車両表面の要件

本保証は純正OEM塗装面への施工にのみ適用されます。非OEM塗装パネル、素地プラスチック、下地詳細については販売代理店にお問い合わせいただくか、KKvinylウェブサイトをご覧ください：